

**note、Google の Gemini 3 Pro をAIアシスタントに搭載  
クリエイターの創作をさらに後押しするAIへ進化**

## Google Gemini 3 Proを AIアシスタントに搭載

note

noteは、Google の最新生成AIモデル Gemini 3 Pro をAIアシスタントに搭載しました。より長い文脈をふまえた理解や、日本語表現の自然さに優れたモデルを使うことで、執筆時の相談や壁打ちが、これまで以上にスムーズになりました。

メモ書きやアイデアの断片から書くテーマや構成のヒントを得たり、より伝わりやすい言い換えや表現のアイデアを相談したりと、AIアシスタントは「書きはじめてから仕上げまで」をそばで支える頼れる相棒へと進化しました。

AIが文章を自動で生み出せるようになった今、創作の価値は、はやくたくさん書くことではなく、自分にしか語れない視点や体験、世界観をどう形にするかへとシフトしています。noteはそうした変化を前提に、AI時代においても、クリエイターのみなさんが創作にもっと集中できるよう、創作のプロセス全体をサポートします。

これからも株主やパートナー企業とともに最新テクノロジーを積極的に取り入れながら、クリエイターのみなさんのための創作環境づくり と、権利・収益を守る仕組みづくりを同時に進めていきます。

## AIアシスタント利用シーンの一例

×

\*\*\*

下書き保存

公開に進む

記事タイトル

最近、調子はどうですか？

AIと自由に相談

全文貼り付け

久しぶりの京都。裏路地の「静かな空気感」が最高だった。これを書きたいけど、普通の旅行記にはしたくない……。何かいい切り口ある？|

OK



×

\*\*\*

下書き保存

公開に進む

記事タイトル

AIと自由に相談

キャンセル

AI

「有名な観光地」と「裏路地の静寂」のコントラスト、すごくわかります。その\*\*「ふと迷い込んだ瞬間の、時間が止まったような感覚」\*\*こそが、京都の奥深い魅力ですね。

単なる「場所紹介（ガイドブック）」や「日記（旅行記）」にしないためには、「情報」ではなく「感覚・感情」を主役にするのがポイントです。

「静かな京都」を表現するための、いくつかの切り口やアプローチを提案します。

1. 「五感」にフォーカスして描写する（視覚以外を使う）

カーソル位置に挿入

完了

追加で聞きたいことがあれば何でもどうぞ！

OK

### 曖昧なアイデアが、書けそうな企画に

頭の中にある断片的なメモやキーワードから、テーマ候補や構成のヒントを引き出します。

「なんとなく書きたいことはあるけれど、どこから手をつければいいかわからない」という段階から、「ここまでくれば書きはじめられる」と思えるところまで伴走してくれます。

### 文章を書くのが苦手で、どうはじめていいかわからないとき

AIアシスタントに「こんな内容を書きたいけど、冒頭をどう書けばいい？」と相談すれば、いくつかの書き出しパターンを提案してくれます。そこから自分に合った書き出し文を選んで、執筆をはじめられます。

### 文脈や意図を深く理解したアドバイス

記事全体の流れや主張を深く理解したうえで、一貫性のあるフィードバックを行います。「ここはもう少し丁寧に」といった読者視点のアドバイスで、執筆中に生じがちな迷いや構成のブレを整えてくれます。

## AIアシスタントについて

noteのAIアシスタントは、Google の最新AIモデル Gemini 3 Pro ※を採用しています。アイデアの整理、表現の改善、文章構成など、クリエイターの創作活動を幅広くサポートします。

※現在は Gemini 3 Pro のプレビュー版です  
Google および Gemini は Google LLC の商標です。

## note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つけたり、おもしろいひとに出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約6407万件の作品が誕生。会員数は1052万人（2025年8月末時点）に達しています。

●URL：<https://note.com/>

●iOSアプリ：<https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>

●Androidアプリ：<https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

## note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアでお店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2

設立日：2011年12月8日 代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口 <https://ir.note.jp/inquiry>